

令和5年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エイ・ビー・アソシ(株)	代表者	柳下 早苗	法人・事業所の特徴	緑や川に面した立地で、自然に囲まれた豊かな時間を過ごすことができる。住み慣れた大磯町で生活環境を大きく変えることなく、ご自分らしい生活を続けることができる。
事業所名	りんどうケアヴィレッジ	管理者	林 由直		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1	0	3	0	0	2	0	4	0	10

項 目	令和5年度の改善計画	令和4年度の改善計画に対する取り組み・結果	出席者の意見	令和6年度にむけた改善計画
A 事業所自己評価の確認	・日々のミーティングにて、利用者の細やかな変化をスタッフ間で共有し、サービス提供に反映していく取り組みを継続する。 ・引き続き感染症対策に取り組みながら、小規模多機能型居宅介護の特色を最大限活かせるように、事業所内での学びの機会を持ち、地域資源の活用と柔軟なサービス提供を目標とする。	・ご利用者やご家族の小さな変化もミーティングなどでスタッフ間の共有を図り、サービス提供に反映する取り組みができた。 ・コロナが5類になり、仕切りを外すなど感染対策を緩和したが、感染拡大をすることなく小規模多機能型居宅介護の特色を活かした柔軟なサービスができた。	・9つのテーマごとに丁寧に評価に取り組んでいる。ミーティングなどで情報を共有している ・具体的に課題が明記してあったり、次の計画につなげられるような改善計画でいいと思います ・適切な支援と具体策が十分記載されていないと感じました(個別記載) ・事前の利用者の情報共有がある ・具体的な改善計画であれば、月1回の会議で話し合う等、具体的な数字を用いて計画すると達成できているか分かりやすくなる。ただ、やるだけになってしまう恐れや気軽に実施しにくくなるため、必要があれば、具体的な数値目標を設定してください。	・ミーティングで利用者や家族の些細な変化をスタッフ間で共有し、事業所内での学びを活かした支援の検討を行い、サービス提供に反映する取り組みを行う。 ・引き続き、感染対策を継続しながら小規模多機能型居宅介護の特色や地域資源を活かした柔軟なサービスの提供を目指す。

項 目	令和5年度の改善計画	令和4年度の改善計画に対する取り組み・結果	出席者の意見	令和6年度にむけた改善計画
B 事業所のしつらえ・環境	・地域交流スペース「なかまーる」及び事業所に地域の方が立ち寄りやすいように、親しみの感じられる環境整備や挨拶を続ける。 ・利用者が安心して過ごせるように、季節感や温かみを感じられる展示物を利用者と共に作成する。 ・引き続き、消毒や手洗い、換気などの衛生管理を徹底し、感染症の予防とまん延防止を図る。	・「なかまーるカフェ」の看板やポスターの活用と季節の花々の手入れをボランティアの方と行い、立ち寄りやすい事業所を目指した。 ・換気や衛生管理に努め、また季節感を感じる催しや掲示物の作成を一緒に行うなどご利用者が穏やかに過ごせる環境整備に努めた。	・なかまーるには利用者の季節の作品が展示されて親しみが感じられる。 ・事業所入口に認知症カフェのお誘いの看板が出され相談しやすい環境作りを工夫している ・なかまーるのしつらえ、環境は良いが空間やカギなどはわからないため、不明としました ・なかまーるも少しづつ中丸地区に認知されている感が分かります ・事業所は清潔感があり、飾りつけ等も温かみを感じられる ・暖かい日にはなかまーるのオープンテラス席を設けると近隣の方たちが立ち寄りやすいのでは？	・「なかまーるカフェ」の毎月の開催を看板やポスターで周知し、また季節の花々や野菜など、親しみやすい環境をつくり、地域の方が立ち寄り易い事業所を目指す。 ・引き続き換気や手洗い、消毒などで感染症の予防と蔓延防止を図る。 ・衛生管理の徹底して清潔感のある空間を作り、利用者が安楽に過ごせる環境の整備に努める。
C 事業所と地域のかかわり	・定期的に認知症カフェや介護の勉強会を開催してりんどうケアタウン大磯から情報発信を行い、地域に認識される親しみやすい事業所を目指す。 ・地域包括支援センターや民生委員、地域の方々と協働して、催しや行事の開催ができるよう取り組む。 ・地域の行事に利用者と共に参加させていただき、地域交流の機会を増やす。	・地域交流スペースでの「なかまーるカフェ」の定期的な開催や、地域行事へご利用者と参加などで、地域との関わる機会を増やせた。 ・地域行事「防災フェス」での介護教室開催など、地域との連携に取り組めた。	・毎月認知症カフェを開催したり、ケアタウン祭りを開催するなど地域との交流の場を作っていた ・令和5年度は中丸町内会との連携(おつきあい)が一段と深まりました。 ・令和6年度は中丸町内会でなかまーるの宣伝もしたいと考えています ・災害フェアなどにも参加され、地域との繋がりが強くなってきていると思います。後は高い世代や実際に相談を必要としている方にどこまで周知されているかどうかは今後の相談、事業所で見てくると思います	・引き続き「なかまーるカフェ」の定期的な開催やケアタウン祭りの開催で、りんどうケアタウン大磯が地域交流の情報発信場所として、地域の方々に親しまれる事業所を目指す。 ・地域の行事へ利用者と参加して地域との交流の機会を増やすと共に、地域の方々と協働した行事の開催に取り組む。

項 目	令和5年度の改善計画	令和4年度の改善計画に対する取り組み・結果	出席者の意見	令和6年度にむけた改善計画
D 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・近隣の散歩やドライブ等の活動を続け、地域のお祭りや行事に参加させていただき、利用者が地域に親しむ機会を増やす。 ・「私のアルバム」の取り組みを続けて、利用者の理解を深め、家族会等を通して家族との交流を持ち、利用者と地域との関わりに生かしていく。	・地域のお祭りへの参加やドライブ、オープンガーデンの見学などにご利用者と参加し、地域に親しむ取り組みができた。 ・ご利用者の地域の民生委員や近隣の方からの情報提供など、地域の方と連携した支援を提供できた。 ・「私のアルバム」の活用し、スタッフ間でよりご利用者の理解を深めた。	・久しぶりに開催された中丸文化祭で利用者の作品を展示する場があったり事業所のイベントポスターなど地域へ呼びかけていた ・外出の機会は作られておりますがお気持ち不明でした ・イベント参加は写真などから確認できました。 ・私のアルバムは良い取り組みだと思う。	・ドライブや地域のお祭りや行事へ利用者と参加させていただく等で、地域と交流する機会を作る。 ・近隣の方や民生委員など、地域の方々と連携して得た情報を支援に活かす。 ・「私のアルバム」の取り組みは引き続き行い、地域との関わりなど利用者の理解を深める。
E 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議にて、地域の課題（介護や福祉、防災等）の情報交換を行い、事業所と地域の方々が協働してできることを検討する。また、意見を活かした取り組みをしていく。 ・地域の方々の意見を反映して、ケアタウン大磯からの情報発信や、地域交流スペース「なかまーる」の活用等の検討を行っていく。	・会議で地域開催お祭りや催事などの情報をいただきご利用者と一緒に参加して楽しむ事ができた。 ・また協働して行事を行う事ができた。 ・地域の災害対策について様々な立場の方からの情報交換ができ、事業所の対策に活かした。 ・地域の課題（介護や福祉、防災など）の情報交換の場として活用できた。	・年間計画表は推進会議、防災、ケアタウン活動がまとめられてわかりやすい ・地域での心配なことを相談できたり、情報を得られる貴重な場になっている ・特に災害についての課題は会議場で様々なお立場の方と意見共有や検討ができるいい場所になっていると思います。 ・利用者の対応検討事例といった内容を取り入れてみてほしいと思う ・なかまーるを活用し、年に1～2回、防災カフェを開くなど近隣の人達との交流の場に！ ・知識の供用は重要なので協力し合って取り組める事に感謝しています	・地域の課題（介護や福祉、防災等）について意見の交換を行い、事業所と地域の方々と協働してできる事を検討し取り組んでいく。 ・地域の方々の情報交換や情報提供の場としての、地域交流スペース「なかまーる」の活用を検討する。

項 目	令和5年度の改善計画	令和4年度の改善計画に対する取り組み・結果	出席者の意見	令和6年度にむけた改善計画
F 事業所の防災・災害対策	・ケアタウン大磯の防災訓練を定期的に実施し、スタッフ一人一人が災害別に対応ができるよう訓練を重ねる。 ・地域の方々に防災訓練に参加していただけるよう連携に努め、災害時において地域の中でどのように行動ができるか検討していく。 ・地域の防災訓練に参加させていただき、災害時に地域との連携が図れるように事業所の役割を検討する。	・ケアタウン大磯の災害別の防災訓練を定期的に実施しスタッフが災害別に対応の確認ができた。 ・地域の防災訓練はご利用者と参加できた。また「防災フェス」では協働して参加する事ができた。	・ケアタウンの防災訓練に参加したことはないが、年間計画が示され訓練の様子を写真等で知ることができた。 ・中丸自主防災組織との連携を強化しましょう ・計画を具体的には確認できておりません ・参加が出来ていなく、今後は機会があれば参加したいと思います ・災害時に頼りになる地域の拠点に今後なっていく取り組みを実際されていると思います ・スタッフの発言から災害時の危機意識が高いと感じる ・今年度は事業所の防災訓練に参加(見学)させて頂きたいと思います	・防災訓練を定期的に実地し、職員一人一人が災害時に適切な対応ができるよう災害の実践に即した訓練を行っていく。 ・事業所の防災訓練に地域の方や他事業所に参加していただき、災害時の地域との連携に努める。またりんどうの避難経路や防災設備、災害時の対応について周知してもらう機会を設ける。 ・地域の防災訓練に参加し、地域との連携を図ると共に、災害時における役割を検討する。